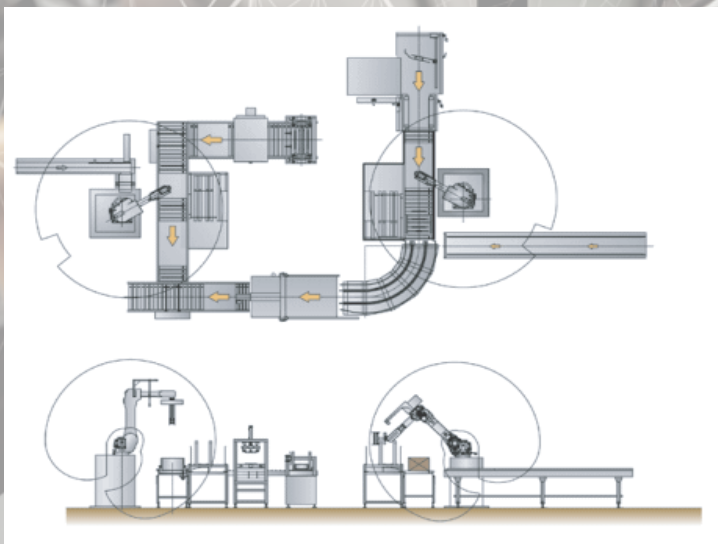




「ロボット箱詰めライン」導入によるコストダウン(省人化)事例

概要

コンテナ箱詰め(小型ワーク)と段ボール箱詰め(中型ワーク)の複合ラインです。
ロボットにてワークを隙間なく入れるとともに、中板の供給もロボットにて行います。
サイクルタイムの関係上、ワークを複数個同時に掴む事ができるハンド設計です。
(各ロボット:交換治具により7品種対応)
本システムのサイクルタイムは2~4秒です。



年間の人件費削減額

- 1、ロボット箱詰めラインの導入コストは41,000千円
- 2、作業員6名の省人化に成功
 - ダンボール供給・組立・中敷供給→1名
 - プラコン供給・組立・中敷供給→1名
 - 商品のダンボール投入→1名
 - 商品のプラコン投入→1名
 - 投函・回収→1名
 - 印字・伝票貼り→1名
- 3、一人あたりの人件費250千円/月

$$250\text{千円/月} \times 6\text{名} \times 12\text{ヶ月} \\ = 18,000\text{千円}$$

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
自動化装置投資金額	-41,000									
人件費削減額※	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
投資採算	-23,000	-5,000	13,000	31,000	49,000	67,000	85,000	103,000	121,000	139,000

(単位:千円)

POINT

- ロボット箱詰めライン導入で作業員6名の削減。
- 2年4ヶ月で、ロボット箱詰めラインの投資金額を人件費の削減額が上回る。
(41,000千円÷18,000千円=2.3年)
- 10年間、ロボット箱詰めラインを使用すれば、
導入コストを差し引いても139,000千円の人件費のコストダウンとなる。

株式会社コスモ技研
〒485-0084 愛知県小牧市入鹿出新田285
TEL:0568-71-6571 FAX:0568-71-6570

掲載している画像及び内容は全て株式会社コスモ技研に帰属致します。
当サイトに掲載している画像及び内容の無断転載を一切禁止致します。